新たな開催に向けて

三部会合同構成発表（コラボ）「四季の彩（いろどり）」への取り組み

脚本担当：吟剣詩舞道部会　武藤　心鴛

近年の傾向として、各部会では趣味の多様化や高齢化により、会員数の減少、活動の制約などが顕著になっています。たまたま、大学の先輩・後輩関係にあった及川邦楽部会長と小生の間で、活動の継続と発展を願い、関係団体の枠を超えた連携活動（コラボ）が話題になっていました。そんな折、40周年記念発表会を迎え、協会からの期待や応援を受け、邦楽・日舞・吟剣詩舞三部会でのコラボが実現に向け急展開しました。未知への挑戦、認識の統一、内容理解等に加えコロナ対応と、具体化は容易なものではありませんでした。

演目は、古来より日本人の生活や心情の基盤ともなってきた、日本の四季を取り上げ、三部会の特性を生かしながらの構成発表「四季の彩」として一舞台にまとめました。

開催は延長となりましたが、先ずは前橋市文化協会の創立40周年を祝し、変わらず美しくめぐりゆく四季の変化のように、生活が安寧であることを願って、当日に向け、更なる磨きをかけておきたいと思います。

心の詩風景 ―朔太郎・元吉―

高橋　在也

萩原朔太郎と高橋元吉の間には、熱心な手紙のやり取りがあったことが知られている。その交友は朔太郎が亡くなるまで途切れなかったが、最も頻繁な頃は、文字通り毎日のやり取りがあった。朔太郎が深夜に書き、それを朝になって近所の元吉の家の郵便受けに直接投函するというものだった。ちょうど朔太郎の最初の詩集『月に吠える』が出版される前夜、1917（大正6）年の頃である。

『萩原朔太郎全集』（13巻、筑摩書房、1977年）を見ると、彼が文字通り「書簡の人」でもあったことが判る。北原白秋、室生犀星といったよく知られている人たちとの熱烈な書簡はもちろん、今日はふつう知られていない様々な人間模様が、朔太郎にとって清濁合わせ飲むように生きるようがとなっていた。元吉はその一人であった。

朔太郎と元吉の手紙の特徴は、極めて思想的な問題が語られていることだ。朔太郎の他の書簡と比べて、これは際立った特徴となっている。たとえば、朔太郎は元吉に宛てた1916（大正5）年の書簡の中で、こう書いている。

人は、悪に落ち込むことなく、（というのは、悪とは人間らしさや真理の輝きを奪うものだから）善に向かって歩まねばならない、と元吉兄は考える。

でも、私は、悪が「非」であるとはどうしても思うことができない。人間は、時に悪のただ中で真理に出会い、あるいは時に善にも向かいそこでも真理に出会う、しかしその真理が何かは、悪と善が出会い「愛」となったときはじめて感じられるものだ…。

大体このようなことを図解を入れて朔太郎は切々と元吉に宛てて書いている。元吉をトルストイに共感する者、自分をドストエフスキーに共感する者だとも書いている。それに対する元吉の返信は現在失われてしまって、元吉の考えは精確にはわからない。朔太郎から見て、元吉はあくまで求道者、しかも善への求道者に見えたことは間違いない。しかるに、自分自身は悪への憧れを隠さないと…。筆者は元吉のひ孫であるが、朔太郎の考え、人は善にも悪にも向かい、しかし愛の中にそれらが合流するという考えに、むしろ深い共鳴を感じる。このことは、特に朔太郎が自分自身を「罪びと」という思いを強く持っていたことから、余計にそう感じる。『月に吠える』の初期稿には「浄罪詩篇」という副題が付けられている。自分自身が欠けている、悩んでいる、傷んでいるという思いが、初期稿からはより直裁に読み取ることができる。

元吉は、しかしこうした朔太郎の世界と無縁ではなかった。元吉の初期の詩（たとえば『遠望』（1922年）所収「幻の海」）は、たったひとりの暗い波打ち際の孤独のなかで、遠くに打ち寄せる金色の波を眺める視点が描かれている。元吉の詩には明確な絵画的風景があるが、その風景のいくつかは、朔太郎の詩の風景とすぐ隣りの風景、あるいは同じ海辺に違う時間に二人の詩人が訪れているかのような詩作品もある。

今回コロナ禍の中で延期となった前橋市文化協会の企画で、筆者は、元吉と朔太郎の共通した詩風景が感じられるような作品をいくつか選んで、そこにピアノ曲を作曲して、演奏したいと思っていた。さらには、朔太郎と元吉の直接の書簡のやりとりを再現して、萩原朔美氏と朗読とピアノのセッションを予定していた。「音」や「声」で、目に見えぬ幻の詩風景を、耳に流れる音を通して立ち昇らせる…というほど大袈裟なものではないが、「心の世界」――心をば何に喩えんの心の世界を身近に感じることができる時間になれたら幸いと思う。時期を改めて、前橋の皆様にお届けできる時を楽しみにしたい。

挿絵　高橋麻伊

前橋市文化協会創立31年～40年のあゆみ

平成24年4月15日　会報「比刀祢58号　創立30周年記念号」発行
平成24年11月17日　前橋市制施行120周年記念「第1回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)・華道展・茶席・邦楽・鎌倉能舞台・和菓子作り実演
平成25年3月15日　会報「比刀祢59号」発行
平成25年10月19日　「第2回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)
平成26年3月15日　会報「比刀祢60号」発行
平成26年11月15日　「第3回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)
平成27年2月21日～22日　第38回県民芸術祭参加（平成26年度地域文化フェスティバル）前橋地域文化フェスティバル（市民文化会館）
平成27年3月15日　会報「比刀祢61号」発行
平成27年5月1日　7代会長　清水和夫氏就任
平成27年10月24日　「第4回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)
平成28年3月15日　会報「比刀祢62号」発行
平成29年3月15日　会報「比刀祢63号」発行
平成29年7月7日　前橋市文化協会看板揮毫　書道部会　西林乗宣先生
平成29年8月19日　臨江閣開館記念事業「第5回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)・記念講演会（村田敬一氏)・記念コンサート（角田和弘氏　他）
平成29年9月10日　ふれあい体験事業「和文化の融合」(臨江閣)・香道（御家流香道第23代宗家三條西尭水氏)・大鼓（能楽囃子大倉流大鼓　大倉正之助氏)
平成30年3月31日　会報「比刀祢64号」発行
平成30年4月2日　市民文化会館2階に事務局開設
平成30年11月10日　臨江閣重要文化財指定記念事業「第6回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)
平成31年3月31日　会報「比刀祢65号　事務局開設特集号」発行

令和元年5月1日　元号が平成から令和へ
令和元年10月26日　「第7回まえばし和の文化の集い」(臨江閣)
令和2年2月1日～2日　第43回県民芸術祭参加（2019年度地域文化フェスティバル）前橋地域文化フェスティバル（市民文化会館）
令和2年3月31日　会報「比刀祢66号」発行
令和2年4月～　新型コロナウイルス感染症流行（令和2年度第43回前橋市民芸術文化祭・第8回まえばし和の文化の集い・ふれあい体験教室中止）※前橋市民芸術文化祭「市民俳句大会（紙上開催)」・「自然趣味盆栽展」・「俳句作品展（合同作品展は中止)」・「仏像彫刻と絵画展」は実施。※ふれあい体験「俳句・連句教室」は市民芸術文化祭「俳句作品展」と同時開催。
令和2年5月　石川橋（大手町三丁目）の揮毫　書道部会　大井美津江部会長
令和3年3月15日　会報「比刀祢67号」発行（前橋市文化協会創立40周年記念プレ事業「短歌・俳句・川柳作品展」)
令和3年4月～　新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施
令和3年10月30日　「第9回まえばし和の文化の集い」新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止(臨江閣)
令和4年1月29日～30日　「前橋市文化協会創立40周年記念のつどい」(市民文化会館）延期
令和4年3月31日　会報「比刀祢68号　創立40周年記念号」発行

第44回 前橋市民芸術文化祭

令和３年度第44回前橋市民芸術文化祭は、全21事業の開催を予定しておりました。しかし、昨年度から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で、８事業、地区文化祭を含めると10事業が中止となりました。３支部の中でも開催できた富士見支部文化祭の報告は、後半に紹介します。

国のまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令され、前橋市内の公民館は、長い期間利用停止となりました。それに伴い、文化協会の活動もストップしてしまう事態でした。コロナ禍での文化活動の在り方、これからの文化振興について各部会、会員の頭を悩ませた１年となりました。その中でも感染対策を講じ、昨年度よりも多くの事業が開催できましたので、ここでご報告いたします。

令和3年度　第44回前橋市民芸術文化祭　開催結果

No.	事業名	期日	会場
1	華道展	４月24日(土)～ ４月25日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
2	邦楽のつどい	~~５月15日(土)~~　中止	昌賢学園まえばしホール小ホール
3	前橋川柳大会	６月上旬	誌上大会
4	歴史講演会	~~６月５日(土)~~　中止	第三コミュニティセンターホール
5	市民短歌大会(郵便投票)	~~６月20日(日)~~　中止	中央公民館501･502学習室
6	ビデオ作品発表会	~~６月27日(日)~~　中止	群馬会館ホール
7	市民俳句大会(表彰のみ)	６月27日(日)	中央公民館ホール
8	民謡民舞発表会	７月４日(日)	昌賢学園まえばしホール大ホール
9	市民音楽のつどい	~~９月５日(日)~~　中止	昌賢学園まえばしホール大ホール
10	八木節のつどい	~~９月12日(日)~~　延期 令和４年２月13日(日)	昌賢学園まえばしホール小ホール
11	吟剣詩舞道発表会	~~10月10日(日)~~　延期 令和４年３月19日(土)	大胡シャンテマルエホール
12	日本舞踊のつどい	~~10月24日(日)~~　中止	昌賢学園まえばしホール小ホール
13	自然趣味盆栽展	10月29日(金)～ 10月31日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
14	仏像彫刻と陶芸･絵画展	11月５日(金)～ 11月７日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
15	短歌･俳句･川柳合同作品展	11月20日(土)～ 11月21日(日)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
16	前橋洋舞フェスティバル	11月21日(日)	昌賢学園まえばしホール大ホール
17	漢詩発表会	~~11月28日(日)~~　中止	第三コミュニティセンターホール
18	フラフェスティバル	~~12月５日(日)~~　中止	昌賢学園まえばしホール小ホール
19	演劇発表会	~~12月19日(日)~~　中止	昌賢学園まえばしホール小ホール
20	市民展覧会　※１ (美術)(写真)(書道)	美術:令和４年２月25日(金)～27日(日) 写真:令和４年３月４日(金)～６日(日) 書道:令和４年３月11日(金)～13日(日)	昌賢学園まえばしホール
21	･大胡地区文化祭 ･粕川元気まつり ･富士見地区文化祭　※２	~~10月22日(金)～11月６日(土)~~ ~~11月７日(日)~~　中止 11月18日(木)～23日(火)	大胡体育館･大胡シャンテマルエホール　他 粕川公民館･粕川小学校 富士見公民館･ふじみ老人福祉センター

※１前橋市教育委員会共催事業　　※２各地区実行委員会主催事業

ご参加いただいた皆様、開催に伴いご協力いただきました会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

今、私達ができることは、文化を絶やさず続けていくことです。また、この活動をつないでいき、若い世代へ広げていくことが、文化協会としての使命です。

今年度は、文化協会創立40周年の節目となります。40周年記念のつどいのサブテーマはまさにこのことを示しています。40年も続く、文化協会の伝統ある市民芸術文化祭をこれからも継続し、前橋市の文化振興に貢献していきたいと思います。

富士見支部

令和3年度、事業計画の作成段階でこのコロナの状況では、会場に人が集まって行う「納涼の集い」「文化講演会」「ニューイヤーコンサート」等は難しいだろうと中止を決定しました。

富士見地区の最大イベントである文化祭は、舞台部門は無理としても展示部門は開催時期の11月のコロナの状況に応じて決めようということとなりました。

幸いこの時期にコロナも下火となり11月18日から23日まで第47回富士見地区文化祭として開催できました。

ホールでは手芸、郷土研究会、絵画、短歌、俳句の展示に、今回から富士見中学校の絵画クラブと原小学校の協力により、生徒さんの作品も展示されました。

ホールを使ったことで落ち着いた雰囲気の展覧会場となり来場者には大変好評でした。

その他、ロビーでは水墨画展、写真展、別の部屋では書道の大作から子どもたちの力作までたくさんの作品であふれていました。

今回は個人からの出展も増え来場者も述べ700人に上り開催できて本当に良かったと関係者一同胸をなでおろしているところです。

2月には「甲(よろい)を着た古墳人」の学習講座を予定していましたがコロナの勢いが増したので年1回発行の「ふじみ文化」での誌上講座に切り替えました。

支部長　白石　博己

ふれあい体験事業

華道

11月6日（土）前橋中央公民館に於いて、午前は草月流、午後は美風池坊の担当で体験教室が行われました。午前の参加者は小学生12名と母親2名でした。まず花材の長さの測り方や基本的な型、剣山で怪我をしない刺し方等を指導した後活けてもらいました。皆さん楽しそうに花に向き合い素敵な作品を仕上げました。「それぞれ違う活け方があって楽しかった」「また参加したい」等々、いけばなの楽しさを知って頂きました。家庭で花のある生活を楽しむきっかけになってほしいと思いました。

治田　秀和

邦楽

大人のための箏ふれあい教室

この度、数年ぶりに「ふれあい体験」事業に参加させて頂きました。緊急事態宣言により会場が使用禁止となり、前半の教室が開催できなくなりました。密にならないように募集人数を少なくしてありましたが、直前にキャンセルする方もいて、最終的に少人数開催となりました。参加者は経験があったので、すぐに演奏指導を始められ、長い時間琴を弾くことができたので楽しんで頂けたのではないかと思います。少しでも多くの人に琴に親しんで頂けるよう努めていきたいと思います。

櫻田　晴波

こどもおこと教室

この度ふれあい教室では私共の会に7名の参加者がありました。感染症対策を実施する中で無事実施することができました。女子が4名男子が2名母親の1名

でした。1回2時間の講習を3日間、7月と8月にかけて実施致しました。模範演奏では「春の海」「線香花火」「アニーローリー」などを披露。今年で7回目、より丁寧で1人1人に目が行き届き、奏法も質の高い指導ができました。

参加者全員が楽しく充実した講習内容となったようです。

冨田恵理子

はじめてのおこと教室

コロナ禍で中止を余儀なくされた昨年、今年こそは子供たちに日本の伝統楽器の箏に触れてもらう機会を作りたいとの思いでふれあい体験教室「はじめてのおこと教室」を開催しました。3人の小学生から参加申し込みがあり、第5波の影響で公民館が使えないため、協会事務局の方と相談し自宅スタジオを開放し、感染症対策を徹底し個別に指導

をしました。保護者の方に見学なしで送迎・毎日の検温のご協力いただき、子供たちは休むことなく、4日間お稽古を重ねることができました。

下野戸亜弓

大正琴

第9回ふれあい体験「大正琴教室」は、6月27日（日）から8月8日（日）の計4回開催しました。練習曲は、「ふるさと」「鐘の鳴る丘」で、事前に大胡の鐘の鳴る丘少年の家を見学に行ってきました。教室では、はじめに琴を弾きながら音符のこと、指の使い方、決まり事などを説明しました。途中休みもあり短い期間でしたが、皆さん一生懸命練習し、上手に弾けるようになりました。大正琴伝統普及に向けて、これからも続けていただきたいと思います。このメンバーで、創立40周年記念のつどいに参加します。

岩井田みき子

日本舞踊

日本舞踊教室

日本舞踊の伝統に触れて欲しい、着物の着方、立ち居振る舞いを知って欲しいとの目的で開催しました。当初8回開催予定でしたが、コロナ禍で予定日、予定時間も変更となり、厳しい日程の中、参加者、保護者を含め、文化協会のスタッフの協力、着付けの手伝いの方々のもと7回の開催ができました。中学生から幼稚園児まで11人の参加でしたが、全員が積極的に取組み、習得することができました。「ぎおん小唄」での稽古でしたが、この経験が何かの役に立てばと、願っています。

坂東仙紫郎

日本舞踊こども教室

３年ぶり19回目のこども教室は８月を２月に延期、募集中第６波に見舞われました。それでも５名参加希望があり、少数なら密を避けられるので、たとえ１回でも開こうと決めました。

３月に着物を着てお扇子を手に「さくら」のお稽古を始めました。無心に踊る姿を見て、こんな状況の中でも心が和み、こちらが励まされています。

感染防止に充分気を付けて４回お稽古を続け、途中から参加した２名を加えてできれば４月に発表の機会を持ちたいと思っています。

若柳　吉駒

吟剣詩舞道

楽しい詩吟教室

昨年は実施できませんでしたが今年は体験教室を開講することができました。広報からの参加者は３名でした（小１含む）。日程は７月、８月の日曜日６回とし、８月中に終了しました。学習時間は２時間（休憩を入れる）とし、学習内容は「詩吟て何？」の基本から符付けや声の出し方、音程や吟調など個々の指導を丁寧に、時々講師の見本吟を楽しみながら学習を進めました。漢詩三題も全員独吟できる様になりました。最後に小学一年生の「詩吟楽しかった」との言葉は嬉しかったです。

倉持　聖心

剣舞大人教室

今年の剣舞教室は８月～９月の予定でしたが、コロナのため前橋中央公民館の利用ができず中止になる所でしたが、延期をして、10月13日～11月24日まで７回実施する事ができました。

新人４名には抜刀、納刀から始めて、ふれあい体験経験者６名と一緒に３月19日に延期された「吟と舞」の出し物「白雲の城」を練習しました。剣舞のような伝統芸能は短期間で修得できるものではないので体験終了後も続けてほしいと願っていたところ２名が快く承諾して下さり有難く嬉しい事でした。

高田　禎彰

八木節

今年の「ふれあい教室」はコロナ禍の中での開催となり、予定した「踊り教室」「お囃子教室」ともに途中で中止せざるを得なくなり非常に残念でなりませんでした。このような中でしたが、参加者の皆さんは初めての八木節を真剣に、そして楽しく体験していました。中断したふれあい教室は令和４年２月に延期した「八木節のつどい」での発表を目標に再開する事ができました。今後も八木節の輪を広げ、明るく楽しく元気な暮らしを目指し活動を続けてまいりたいと思います。

阿佐美菊男

俳句

初心者俳句教室

10月21日（木）、11月４日（木）の２日間第三コミュニティーセンターにおいて実施した。昨年は実施できず、今年は６月開催の予定がコロナ対応等で再三の延期となった。しかしそれにも拘わらず９名の申込者があった。

１日目の前半は俳句作りの基礎を学び、その後作りやすい方法を示し、早速作って頂いた。歳時記に不慣れな人も初めての句作りに挑戦。２日目には持参の３句を清記・コピー・互選・披講と句会を楽しんだ。初心者とは思えない俳句もあり、手応えを感じた２日間となった。

工藤　弘子

令和４年度ふれあい体験教室開催予定一覧

	教室名	団体名／講師名	日時	会場
1	長唄三味線教室	長唄千歳会 東音三野村千枝子	4/２･16･30･5/７ (各土曜) 13:00 ～ 14:00	第一コミュニティセンター
2	こども三味線教室 長唄ヤサエモン座	長唄ヤサエモン座 杵屋彌三右衛門	4/２･16･30･5/７ (各土曜) 14:00 ～ 15:00	第一コミュニティセンター
3	日本舞踊教室	紫会 坂東仙紫郎	5/７･14･21･28 6/４･11･18 (各土曜) 14:00 ～ 15:30	総合福祉会館
4	西馬音内盆踊り教室	西馬音内盆踊り保存愛好会 藤巻睦子	5/14･21･28 6/４･11･18 7/２･9 (各土曜) 10:30 ～ 11:30	第三コミュニティセンター
5	おこと体験教室	櫻箏会 櫻田晴波	6/５･19 7/３･17 (各日曜) ①10:00 ～ 10:40 ②10:50 ～ 11:30	総合福祉会館
6	居合道教室	居合道部会 吉田　努	6/５･26 9/11･25 (各日曜) 14:00 ～ 16:00	ALSOK ぐんま武道館
7	楽しい詩吟教室	岳心流上毛岳心会 瀬間踪心	7/３･10･24･31 8/７ (各日曜) 9:30 ～ 11:30	中央公民館
8	こどもおこと教室	恵玉まゆの会 冨田恵理子	7/23･30･8/６ (各土曜) 14:00 ～ 16:00	総合福祉会館
9	八木節教室 (踊り)	八木節部会 阿佐美菊男	7/24･31･8/７･21 (各日曜) 10:00 ～ 12:00 (合同) 8/29(月) 19:00 ～ 21:00	中央公民館
	八木節教室 (お囃子)		7/25･8/１･8･22 (各月曜) (合同) 8/29(月) 19:00 ～ 21:00	中央公民館
10	茶道教室	小堀遠州流前橋支部 塩原宗清	8/７(日) ①10:00 ～ 11:30 ②13:30 ～ 15:00	中央公民館
11	剣舞大人教室	心彰流剣舞剣彰会 髙田禎彰	8/10･17･24･31 9/７･14･21･28 (各水曜) 9:30 ～ 11:30	中央公民館
12	漢詩教室	漢詩部会 石島　勇	9/10(土) 13:30 ～ 15:30	第三コミュニティセンター
13	日本舞踊教室	直派若柳流美登利会 若柳吉駒	9/25 10/１･8･15･23 (各土曜･日曜) 14:00 ～ 14:45	第二コミュニティセンター
14	いけばな体験教室	①大和華道前橋支部 進藤恵春 ②龍生派 中森暁月	11/５(土) ①10:00 ～ ②13:30 ～	中央公民館

※都合により、日時･会場等の変更または中止となる場合があります。

令和3年度役員等名簿

名誉会長　山本　龍（前橋市長）
会　長　清水　和夫
副会長　阿部　淑美（大胡支部）　井野　誠一（郷土芸能）　及川　清流（邦楽）　白石　博己（富士見支部）
原　興志美（粕川支部）　室賀　孝子（バレエ）
書　記　荻野　昇（大胡支部）　佐藤三惠子（音楽）　三村　悦子（川柳）　武藤　心鴛（吟剣詩舞道）
会　計　猪熊佳奈子（粕川支部）　西川扇富珠（日本舞踊）　増村　友美（富士見支部）
監　事　臼田　昇（大胡支部）　鈴木二千六（民謡民舞）　吉澤　信明（歴史）

常任理事
大井美津江（書道）　山口　幹雄（美術）　前野　芳江（写真）
佐藤　利一（映像）　髙橋　宗美（茶道）　田村　理光（華道）
石原いく代（音楽）　齋藤　直美（バレエ）　須藤　幸子（邦楽）
岩井田みき子（大正琴）　若柳　吉駒（日本舞踊）　瀬間　踪心（吟剣詩舞道）
伊藤　養吉（民謡民舞）　阿佐美菊男（八木節）　谷　晃仁（郷土芸能）
中川　春雄（歴史）　平山　勇（短歌）　今井　妙（俳句）
田中寿々夢（川柳）　片倉　優水（漢詩）　小井戸恵子（演劇）
久保寺健夫（自然趣味）　吉野　美子（民族舞踊）　吉田　努（居合道）
若柳菊三枝（日本の名曲を踊る）　伊藤ツヤ子（大胡支部）　髙橋　一恵（粕川支部）
石関　雅幸（富士見支部）　間庭　淳（公益財団法人前橋市まちづくり公社）　田中　力（前橋市）

理　事
下谷　洋子（書道）　真下　道明（美術）　寺澤　昌佑（写真）
宇多川　紘（映像）　長谷川翔雪（茶道）　宇田理由美（華道）
飯塚　幸生（音楽）　氏家　由佳（バレエ）　齋藤　直樹（邦楽）
女屋　京子（大正琴）　若柳　茂駒（日本舞踊）　高山　龍聖（吟剣詩舞道）
石倉　節子（民謡民舞）　中嶋　俊明（八木節）　富澤　好克（郷土芸能）
石田　和男（歴史）　岡田　正子（短歌）　工藤　弘子（俳句）
勢藤　潤（川柳）　小暮　心明（漢詩）　日田　一郎（演劇）
小金澤健次（自然趣味）　新井扶美子（民族舞踊）　山本　明夫（居合道）
若柳かをる（日本の名曲を踊る）　小野　桂一（大胡支部）　大澤　敏子（粕川支部）
小林　淳美（富士見支部）　福田　修（公益財団法人前橋市まちづくり公社）　大友　貴裕（前橋市）

顧　問
石原秀一郎（一般社団法人前橋市歯科医師会会長）　内山　充（株式会社上毛新聞社代表取締役社長）
江原　洋（株式会社東和銀行代表取締役頭取）　大塚　隆夫（ＪＡ前橋市代表理事組合長）
塩﨑　政江（前橋市教育委員会前教育長）　須田　浩充（公益社団法人前橋市医師会会長）
曽我　孝之（前橋商工会議所会頭）　武井　和夫（群馬テレビ株式会社代表取締役社長）
塚越　正弘（株式会社エフエム群馬代表取締役社長）　戸塚　良明（前橋市副市長）
深井　彰彦（株式会社群馬銀行代表取締役頭取）　矢島　俊夫（前橋ユネスコ協会会長）
吉川真由美（前橋市教育委員会教育長）

参　与
石川　靖（前橋商工会議所情報メディア部会長）　稲田　貴宣（前橋商工会議所専務理事）
平石　秀樹（前橋市文化スポーツ観光部長）

事務局
田中　力（前橋市文化国際課長）　大友　貴裕（前橋市文化国際課副参事兼文化振興係長）
中渕麻由香（前橋市文化国際課文化振興係主事）　齋木　雄造（事務局長）
鈴木　雅浩（事務局員）　新井　彩子（事務局員）

令和３年度賛助会員名簿（50音順）

法人・企業等	代　表
赤城フーズ株式会社	遠山　昌子
朝日印刷工業株式会社	石川　　靖
一線美術両毛支部	高橋留三郎
株式会社オオタヤ	都丸　幸彦
カネコ種苗株式会社	金子　昌彦
関東精機株式会社	鮒澤　剛史
株式会社群馬銀行	深井　彰彦
有限会社群馬通信機サービス	新井　紘子
群馬トヨペット株式会社	大山　駿作
ケービックス株式会社	井上　哲孝
株式会社ジーシーシ	町田　　敦
清水農園	清水　和夫
下田内科医院	下田　隆也
株式会社上毛新聞社	内山　　充
上毛電業株式会社	狩野　　明
株式会社ジンズホールディングス	田中　　仁
青南社	金子　侑司
高木左官店	高木　勝夫
株式会社東和銀行	江原　　洋

法人・企業等	代　表
株式会社登利平	丸山　勝弘
なかざと歯科医院	中里　隆之
日本ピアノホールディング株式会社	中森　隆利
株式会社ノブプランニング	町田　栄信
バンクリエイティブセンター	伴場　孝憲
星野総合商事株式会社	星野　大輔
公益社団法人前橋市医師会	須田　浩充
前橋事務器株式会社	秋山　佑馬
公益財団法人前橋観光コンベンション協会	曽我　孝之
一般社団法人前橋市歯科医師会	石原秀一郎
公益財団法人前橋市まちづくり公社	靜　　知明
前橋商工会議所	曽我　孝之
松本印刷工業株式会社	松本　　徹
モリタ印刷工業株式会社	堤　　真志
株式会社ヤマト	町田　　豊
株式会社ユニバースサイン	伊藤　佳明
医療法人吉野医院	吉野　昭男
若宮内科	山田　邦子

（敬称略）

賛助会員・HPバナー広告を募集しています

本協会事務局へお電話、FAX、メールによりお問い合わせください。

〒371-0805　前橋市南町三丁目62-1　昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）内

電話　027-289-6521　　**FAX**　027-289-6531

ホームページ内の「お問い合わせフォーム」（https://maebunka-k.jp/）

E-mail　maebunka@maebunka-k.jp

令和４年度　第45回前橋市民芸術文化祭開催予定一覧

No.	事業名	期　日	時　間	会　　場
1	華道展	４月23日(土)～ ４月24日(日)	10:00～	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
2	邦楽のつどい	５月８日(日)	12:30～	昌賢学園まえばしホール小ホール
3	大茶会	５月15日(日)	10:00～	臨江閣･日本庭園和室
4	前橋川柳大会	６月上旬	誌上開催	
5	歴史講演会	６月４日(土)	13:30～	第三コミュニティセンターホール
6	市民短歌大会	６月12日(日)	13:30～	中央公民館501･502学習室
7	市民俳句大会	６月26日(日)	13:30～	中央公民館ホール
8	民謡民舞発表会	７月３日(日)	10:00～	昌賢学園まえばしホール大ホール
9	八木節のつどい	９月４日(日)	10:00～	昌賢学園まえばしホール大ホール
10	吟剣詩舞道発表会	10月８日(土)	13:00～	大胡シャンテマルエホール
11	日本舞踊のつどい	10月23日(日)	13:00～	昌賢学園まえばしホール小ホール
12	自然趣味盆栽展	10月28日(金)～ 10月30日(日)	9:00～ (28日は 13:00～)	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
13	仏像彫刻と陶芸･絵画展	11月４日(金)～ 11月６日(日)	9:00～	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
14	前橋洋舞フェスティバル	11月13日(日)	13:30～	昌賢学園まえばしホール大ホール
15	短歌･俳句･川柳合同作品展	11月19日(土)～ 11月20日(日)	9:00～	昌賢学園まえばしホール 大展示ホール
16	郷土芸能大会　※１	11月26日(土)	12:30～	臨江閣
17	市民音楽のつどい	11月27日(日)	13:00～	昌賢学園まえばしホール小ホール
18	漢詩発表会	11月27日(日)	13:00～	第三コミュニティセンターホール
19	フラフェスティバル	12月４日(日)	12:30～	昌賢学園まえばしホール小ホール
20	創立40周年記念のつどい	令和５年 ３月25日(土)～３月27日(月)		昌賢学園まえばしホール
21	市民展覧会　※２ (美術)(写真)(書道)	令和５年 ２月～３月		未定
22	･大胡地区文化祭　　※３ ･粕川元気まつり ･富士見地区文化祭	10月21日(金)～11月５日(土) 11月６日(日) 11月15日(火)～11月23日(水)		大胡体育館･大胡シャンテマルエホール　他 粕川小学校 富士見公民館

＊都合により、日程や開演時間等が変更になる場合があります。　【令和４年３月１日現在】

（※１前橋市教育委員会主催事業　※２前橋市教育委員会共催事業　※３各地区実行委員会主催事業）

令和3年度 第56回前橋市民展覧会入賞者一覧

（敬称略）

書道部門

第1部 漢字

市民展賞　宋之門詩　角田津也子
市教育長賞　皇甫曾詩　角田まさよ
東京新聞賞　杜甫詩　松村　茂子
優作賞　七言絶句　木嶋　弘子
優作賞　李奎詩　小林伊登子
奨励賞　貢師泰詩　羽鳥　宏
奨励賞　林逋詩　櫻井　和子
奨励賞　許棠詩　柳井三代子
奨励賞　歐陽修詩　林　京子
奨励賞　許渾詩　大澤まさ江
奨励賞　任蕃詩　関本　菜実
奨励賞　曹全碑の一節　加辺　英明
奨励賞　許渾詩　神宮明日子
奨励賞　曹全碑　木暮　涼乃
臨江賞　七言二句　荒井はま江
無鑑査賞　白樂天詩　榎田　護

第2部 かな

知事賞　みよし野の　石田　博子
市議会議長賞　桜狩　温井　任子
前橋商工会議所会頭賞　天の原　濱田　陽一
群馬テレビ賞　吉野山　長山美恵子
産経新聞社賞　あはれてふ　塚田　英子
読売新聞社賞　若の浦に　生方　千里
企業メセナ群馬賞　あづま路の　髙橋　政男
優作賞　あさみどり　藤生由紀子
優作賞　黒髪の　橋本　正子
優作賞　春くれば　金井　範子
奨励賞　わがそでは　舩津美代子
奨励賞　あしびきの　木村　裕子
奨励賞　もえぎたつ　松本　たみ
奨励賞　夜をさむみ　金子　波江
奨励賞　来む世にも　奈良キク子
奨励賞　谷風に　池野　寿子
奨励賞　かすかなる　中村シゲ子
奨励賞　きみがため　中里　智香
奨励賞　花の色は　桜井　弘子
奨励賞　春霞　樋口　須加
奨励賞　木がくれに　貝塚　春子
奨励賞　する墨の　山賀　明美
奨励賞　夕月夜　吉田　恵次
奨励賞　冬晴れの　角田ちる子
奨励賞　たずねたる　上野カヅエ
奨励賞　いつしかに　中島由美子
奨励賞　春といへば　細川　敦子
奨励賞　としくれぬ　町田　栄子
奨励賞　とめこがし　佐藤智恵子
臨江賞　何となく　中村　克子
委員賞　この朝　朝倉　春江
無鑑査賞　春のたを　岡田　貞子

第3部 新傾向

市長賞　陽　青木規久繪
県教育長賞　あい子句　北爪　美波
市文化協会長賞　龍　大井　龍起
上毛新聞社賞　あい子句　太田　克子
NHK前橋放送局長賞　悠仁の詩　都丸　千夏
朝日新聞社賞　正岡子規の歌　小林喜美子
毎日新聞社賞　音　大井　玲音
エフエム群馬賞　有　田部井隆通
群馬県教育振興会長賞　「日時計」竹内勝太郎詩　小林　真依
優作賞　遊　中野　俊江
優作賞　稀　外山　文子
優作賞　霞　林　美子
優作賞　犀星のうた　梅澤まゆみ
奨励賞　簾　佐藤　太子
奨励賞　瞬間　井田　芳江
奨励賞　睦子うた　小島　陽子
奨励賞　彦九郎うた　根岸　幸枝
奨励賞　まち子うた　蘭　友紀子
奨励賞　涛　倉林　和子
奨励賞　鐘音　山口　晴美
奨励賞　鷗　大嶋　淑子
奨励賞　浮雲　田村　和代
奨励賞　濠　田中　幸江
奨励賞　宮沢賢治の詩　塚越　徹
奨励賞　成　阿部　篤
奨励賞　動く　山田　恵子
奨励賞　恵　丸橋はな江
奨励賞　星　今井由紀子
奨励賞　西行のうた　根岸　昭子
奨励賞　金子みすゞの詩　櫻井　恭子
奨励賞　芭蕉句　平林ひろ子
奨励賞　田中冬二の詩　阿佐美聡子
奨励賞　石川啄木の歌　佐藤　妙子
奨励賞　泉　鎌田　好恵
奨励賞　寅　荒井　弓子
臨江賞　左千夫の詩　小暮　タカ
無鑑査賞　牧水うた　寺澤　治枝

美術部門

第1部 平面

市民展賞　AtmosI　島田　淳
知事賞　想い　栗原　文代
市議会議長賞　冬至　鈴木その江
県教育長賞　アトリエにて「Memories」　小板橋良江
市教育長賞　光の街　鈴木　惠子
市文化協会長賞　吼　小山　陽子
上毛新聞社賞　Likeawolf　山本　尚一
NHK前橋放送局長賞　ざくろ　古島　美樹
朝日新聞社賞　一隅　小柏　美江
産経新聞社賞　追想　荒木　和代
東京新聞賞　'21春（つくも川）　原田　衣
毎日新聞社賞　森林の命（1）　髙橋　丈夫
読売新聞社賞　あら盆　志藤　春江
エフエム群馬賞　雪の銀山温泉（山形県）　永井　適
企業メセナ群馬賞　刻の流れ　檜谷　安紀
群馬県教育振興会長賞　ぼくもいっしょにあそべたらいいのに　千明さくら
優作賞　晩夏　室井　夏樹
優作賞　穏やかな午後　市川結梨奈
優作賞　黄昏　近藤　彩音
優作賞　里山の夜明け　湯浅　玲子
優作賞　MOTTAINAI　八木原　操
優作賞　至福のひと時　金古　伸子
優作賞　枯れ草の道　小暮　知美
優作賞　老い　立見　莞爾
優作賞　葦の足　石野　光那
優作賞　切り抜かれた寂寞　金田　亮平

優作賞　レンガ倉庫　大野　昭子
優作賞　古都の朝　都丸　秀雄
優作賞　悠久　津田　勝利
優作賞　ほわほわする　小林亜由美
優作賞　北橋町城山からの眺め　南雲　勇
優作賞　食らう　下酒井一美
優作賞　轟の滝　鈴木　皓久
奨励賞　からすうり　相島　昌子
奨励賞　馬場川沿いの街並み　黛　春美
奨励賞　パリの裏通り　中曽根正典
奨励賞　福石猫　中澤　賢太
奨励賞　海底　西村　葵
奨励賞　不毛の渦と眼　増田かつひろ
奨励賞　月あかり　北爪ひろ子
奨励賞　広瀬川の桜　白石　君江
奨励賞　めがね橋　町田わか子
奨励賞　想い　久永　宏子
奨励賞　妙義山麓　田中　晃夫
奨励賞　朝市　駒木　勝彦
奨励賞　秋、切株の詩　河田　利恵
奨励賞　春を待つ　藤野　春雄
奨励賞　岩　景　野口　淳一
奨励賞　刻々と変わりゆく　瀧澤真由美
奨励賞　しょうゆラーメン　宮地　萌生
奨励賞　ほうずき　森田さよ子
奨励賞　前橋祭り　小澤　茂彦
奨励賞　春の路　根岸　絹子
奨励賞　片陰　柳澤　秀子
奨励賞　アトリエ　池永　圭子
奨励賞　鮭の塩引き・きっかわ　熊野　徹
奨励賞　天空に生きる　根岸ちい子
奨励賞　古都　設樂　桧
奨励賞　森林公園の春　金井　廣子
奨励賞　月が昇る　佐藤　高彦
奨励賞　特等席　関矢　彩乃
奨励賞　生命の動脈　吉野　侑良
奨励賞　中庭より　涌井　琴里
奨励賞　個性　小林　彩芽
奨励賞　雨風を凌ぐ　池谷　心都
奨励賞　歓　梅山　惠子
奨励賞　はないかだ　熊谷小夜子
奨励賞　天空の夏　長瀬　卓司
奨励賞　甦れ馬場川通り（春）　黒田　平吉
奨励賞　Turquoise Blue　岩﨑　佳子
奨励賞　晩秋の尾瀬ヶ原　青木　道雄
奨励賞　こっちへおいで２　水野　千佐
奨励賞　なかよし　高橋　栄子
臨江賞　追憶（敷島公園）　田村　栄子
臨江賞　ボトル　品川　隆幸
臨江賞　今日も元気。（私を放さないで!!）　森村　利雄
臨江賞　湯沢の春　小保方　敬
無鑑査賞　電信柱のある風景　中村紀久世
無鑑査賞　少年　Ｙ　新井　知美
無鑑査賞　ナ・ナニシテル　池田あつみ
無鑑査賞　“北の国から”五郎さんの家　大谷　房子
無鑑査賞　歌声絶えて（３）　栂　勇三
委員賞　リボン結び　田村　啓子
委員賞　暦日　長井　由夫
委員賞　Packing　Ⅳ　桑原　康枝
委員賞　思索　古川由美子
委員賞　芽ぶく　川野　竹子
委員賞　マルチカラー・ストライプ　吉永智恵子
委員賞　春の詩　木下　一子
委員賞　焔魔天曼荼羅　豊川　重盛
委員賞　鳥の詩　橋元　恵子

第２部　立体・工芸

群馬テレビ賞　宇宙　田村　俊明
前橋商工会議所会頭賞　花ぼん（しぼり枡あじろ編２重底　縄目返し、矢筈、縁）　千木良　充
市長賞　祈り　高柳　千秋
優作賞　蒼　和田　玲子
優作賞　千鳥掛け花籠　平形　芳樹
奨励賞　焼締飛び鉢花器　高梨　和幸
奨励賞　form　海野　雅弘
奨励賞　善積　省子　善積　省子
奨励賞　未明　日詰　裕子
奨励賞　干柿　光富　陽子
臨江賞　八ツ目編色紙掛　藤井　正彦
無鑑査賞　アルペジオ　田村　聰江
委員賞　花文様象嵌器　篠　宗人

写真部門

第１部　風景・ネイチャー

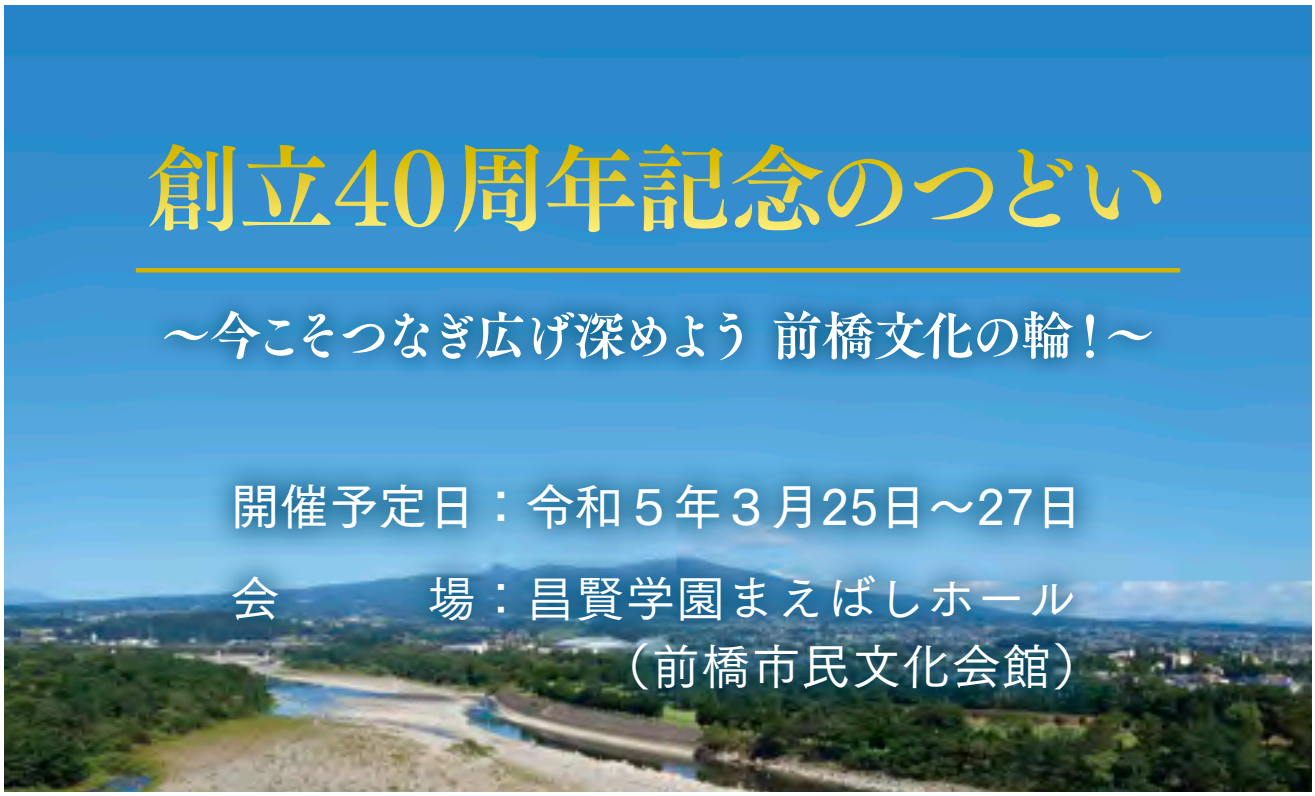
市長賞　氷の造形　藤井　正彦
市教育長賞　苔生す　中里　雅重
市文化協会長賞　スノウインスペクション　小川　雄太
群馬テレビ賞　朝もやの中で　髙橋　清
朝日新聞社賞　日の出　峯岸　道男
毎日新聞社賞　湖畔の冬木立　木暮　修司
読売新聞社賞　秋の輝き　藤川　敏枝
群馬県教育振興会長賞　光のシャワー　岡本　福七
優作賞　朝霧の後に　元花　義昭
優作賞　谷川岳に降り注ぐしだれ桜　井野　佳幸
奨励賞　落花の舞曲　遠藤　勲
奨励賞　棚田のきらめき　船戸　作司
奨励賞　滝しぶき　野澤　梅夫
奨励賞　朝明け　白石　雅人
臨江賞　八ツ場ダム　近藤みどり
無鑑査賞　けあらし舞う　牛込　善衛
委員賞　シルエット　依田　正雄

第２部　花・動植物

市民展賞　歓喜の羽ばたき　松下　進
市議会議長賞　求愛給餌　藤井　史司
前橋商工会議所会頭賞　花守　清水　保宏
ＮＨＫ前橋放送局長賞　夏の気憶　小林　良一
産経新聞社賞　彼岸花幻想　渡辺　脩二
エフエム群馬賞　飛躍　小川　紘一
優作賞　寒中の舞い　布施川　茂
奨励賞　春だよー　中澤　正雄
奨励賞　夏去りぬ　倉林　義雄
臨江賞　ひとりっ子　木下　正夫

第３部　スナップ・人物

知事賞　仲良し　須藤　剛
県教育長賞　退散を願って　今井　允
上毛新聞社賞　鬼ごっこ　難波　秀夫
東京新聞賞　火渡り　萩原　利一
企業メセナ群馬賞　コロナ退散　坂部　浩一
優作賞　暖かな日差しに誘われて　木部日出雄
奨励賞　まだ序盤　氏家　正行
臨江賞　コロナ収束の願い　郷　薫
無鑑査賞　紅炎　石田　誠一



お　知　ら　せ

このたび下記の方々が栄誉を受けました。ここに紹介しお祝い申し上げます。今後、益々のご活躍を祈念いたします。
（敬称略・50音順）

※群馬県文化奨励賞

中嶋　俊明　（八木節部会）

※前橋市教育文化功労者表彰

新井扶美子　（民族舞踊部会）
伊藤ツヤ子　（大胡支部）
工藤　弘子　（俳句部会）
原　興志美　（粕川支部）

※前橋市社会教育活動功労者表彰

石関　雅幸　（富士見支部）
今井　　妙　（俳句部会）
須藤　幸子　（邦楽部会）
寺澤　昌佑　（写真部会）
平山　　勇　（短歌部会）

新入会員紹介　～令和３年度加入～

演劇部会

劇団ザ･マルク･シアター　代表者　生方　保光（R３.７～）

粕川支部

ノアメリア　代表者　穴原　香里（R４.３～）

邦楽部会

光山会群馬県支部　代表者　小野木雅紀（R３.９～）

編集後記

今年度は、前橋市文化協会設立40周年記念特別号をお届け致します。昨年に続きコロナ禍で中止の事業が多い中、市民芸術文化祭では舞台部門他いくつか開催でき、また40周年記念に向けて、各部会等に準備協力を頂きました。文化活動をこれからも、より時代に沿った形（ＳＮＳ）で発信したいと思います。

三村　悦子

会報（比刀祢）編集委員
委員長　三村悦子
副委員長　今井　妙
委　員　工藤弘子　田中寿々夢

比刀祢（ひとね）（68号）
令和４年３月15日　印刷
令和４年３月31日　発行
発行　前橋市文化協会
編集　会報（比刀祢）編集委員会
前橋市南町３―62―１
（昌賢学園まえばしホール内）
電話０２７―２８９―６５２１
印刷　朝日印刷工業株式会社

もっと便利に、もっとカンタンに！

東和銀行アプリ

アプリのトップ画面に
あなたの口座残高が
表示されます。

来店不要で
口座開設

いつでも
どこでも
残高確認

入出金も
かんたん
検索

電子マネー
アプリにも
らくらく
アクセス

iPhone・Android に対応

ダウンロードは各アプリストアから

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

※iPhone、App Store、Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
※Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

ふ れ あ い バ ン ク

TOWA 東和銀行